

第20回 iSUC 札幌大会

2009年 10月21日水 - 23日金
札幌コンベンションセンター [札幌市白石区]

セッションを通じて、
すぐに生かせる
知識を得られる。

企業や年齢の壁を
超えて、たくさんの
仲間と知り合える。

セッションで学び、
IT展示会でその内容に
触れられる。

iSUCは、ぎっしり内容が詰まった研鑽・交流プログラムです。

申込開始は、2009年7月22日(水)から 参加費：60,000円 [早期申込割引 50,000円]

※申込締切は、10月2日(金)18:00となります。なお、早期申込割引は、9月11日(金)18:00までのお申し込み分に適用されます。
※参加費には、1日目夜開催のiES(情報交換会)参加費、2・3日目 昼食代が含まれます。

iSUC(アイザック)は、3日間で集中的にスキルアップを図り、人脈を広げることができるIBMユーザー研究会の誇る研鑽・交流プログラムです。最新のIT関連情報や貴重なユーザー事例など、ここでしか聞くことができない100コマ以上の「セッション」をはじめ、企業や年齢、職種の壁を越えて、参加者同士気軽に交流できる「情報交換会」、そしてIT展示会「iSUCモール」の3つの柱で構成されています。

今という厳しい時代だからこそ外に出て、最新情報に触れ、元気な仲間と交流し、それを明日へつなげるパワーに変えていくことが大切なのではないでしょうか。iSUC 実行委員会では、その想いを「挑戦」という大会テーマに込めました。

“ITのプロフェッショナル”を育て続けて20年。

iSUC 札幌大会へのご参加をお待ちしています。

基調講演 講師紹介

オープニングを飾る「基調講演」講師は、
日本を代表する海洋冒険家

白石 康次郎 氏

講演テーマ：

『壁はある。でも乗り越えられる。』



【プロフィール】

42歳。東京生まれ。高校卒業後、単独世界一周のヨットレースで優勝した経験を持つ故・多田雄幸氏に弟子入り。26歳の時には、2度の失敗を乗り越えて、ヨットで単独無寄港世界一周の最年少記録を打ち立てる。2006年、世界一過酷と言われる単独世界一周ヨットレース「5 OCEANS」の最高峰「クラス1」に日本人として初めて参戦。約5万5,000km、7ヵ月にわたる航海の後、見事2位の座に輝く。数々の困難に直面したとき、ひとりでそれをどうやって切り開いたのか。命がけで冒険に挑戦し、夢を叶えるとはどういうことなのか。白石氏の熱いメッセージをお聞きください。

[第20回 iSUC 札幌大会テーマ] **挑戦** ～継承と変革でチャンスをつかめ～

最新情報とお申し込みは、ホームページから

<http://www.uken.or.jp/isuc/>

随時、情報が更新されます。定期的にチェックを！

20回を記念して、 北海道にちなんだセッションを 多数ご用意しました

●遠藤 友彦氏

あの駒苫野球部の甲子園連覇を支えたメンタルトレーナーが「個人力／組織力パワーアップ」の秘けつを公開
熱血野球塾を主宰する(有)ゴーアヘッドジャパン 代表取締役

●丸谷 博男氏

「北のデザイン」研究会を通じて、北海道にふさわしい建築物の姿を模索する建築家
(株)エーアンドエーセントラル 代表

●浅原 千代治氏

小樽在住のガラス工芸作家
「ザ・ガラススタジオ イン 小樽」代表

CIO向けセッションも充実 情報システム部門の責任者が抱える悩みを解決します

今年のセッションは、このような 「キーワード」でラインナップします



※順不同。最新情報は、iSUC ホームページをご覧ください

旬のIT関連情報やユーザー事例、 IBM最新情報を聞くことができる 100コマ以上のセッション

iSUCでしか聞くことのできない技術動向や貴重なユーザー事例、IBMからの最新技術情報の提供、そして開催地に関連した著名講師による講演など、3日間の会期中、100コマを超える有益な「セッション」が開催されます。また、一方的に講師の話聞くのではなく、少人数の参加者同士で、テーマに沿って自由に意見交換するインタラクティブな「全員参加型セッション」もご用意しますので、積極的にご参加ください。



企業の壁を越えて、 全国のIT部門の仲間と 交流できる情報交換会

初日の夜に開催される「iES」(情報交換会)には、セッション講師やIBM役員も参加しますので、たくさんの方と知り合いになれるチャンスです。2日目の夜には、知り合った仲間とともに、地元・札幌を楽しんでいただくオプション・プログラムもご用意しています。



最新のITソリューションに 触れられる展示会

「iSUCモール」は、大会期間中、会場内に併設されるIT展示会です。セッションで知識を学んだら、モールで最新のソリューションに触れてみませんか？ 出展社の各ブースで、IBM i関連をはじめ、セキュリティ、Web関連ソリューションなど、数々の最新技術やソリューションについて、じっくり説明を聞いていただくことが可能です。さらにくわしい情報は、モール会場で開催される出展社による「モール・セミナー」で入手できます。



iSUCは「ユーザーのユーザーによる ユーザーのためのコンファレンス」

関東研の有志の提案で誕生した勉強会をきっかけに、第1回のiSUC(アイザック)が静岡県のおつま恋で開催されたのが、1990年10月のこと。そして今年、20回という大きな節目となる大会を開催することになりました。

iSUCの特徴は、ボランティア活動によって支えられているという点です。iSUCでは、講師の方も実行委員も、会員として参加費を払って大会に参加します。これがボランティア活動の第一歩となります。さらに有志がセッション講師としてセミナーに参加。また会員の中からの志願者が、実行委員やスタッフとして大会運営に寄与します。大会運営に対する関与の度合いには差はありますが、全ての活動は会員のボランティア活動により支えられています。つまり、大会に参加する皆さんは、お客さまではなく、大会運営の当事者であり、主役なのです。文字通り「ユーザーのユーザーによる ユーザーのためのコンファレンス」がiSUCといえるでしょう。

そして第1回から第20回まで変わらないのが、どのセッションのテーマも、実行委員メンバーが参加者の立場で考えて決めた内容ということです。今年も参加者の皆さんに「聞きたいセッションがあるからiSUCに来た」と言ってもらえるよう、実行委員みんなで想いを込めて、3日間のプログラムを練り上げています。